



財団行事の詳細はホームページ等でお知らせします。

発掘調査成果発表会・出土品展示会

内容：令和５年度に実施した発掘調査の成果を写真やパネルなどで報告します。展示会では各遺跡から出土した遺物をご覧いただき、成果発表会当日は、職員による解説を行う予定です。

日時：【発掘調査成果発表会】 2024(令和6)年8月12日(月・祝) 10:00～15:10(受付9:30～)
【出土品展示会】2024(令和6)年8月7日(水)～12日(月・祝) 10:30～16:30(12日は14:15まで)

会場：【発掘調査成果発表会】 横浜市栄区民文化センター(リリス)ホール
【出土品展示会】横浜市栄区民文化センター(リリス)ギャラリーA
(横浜市栄区小菅ケ谷 1-2-1(地球市民かながわプラザ内))

申込：不要 アクセス：ＪＲ京浜東北線「本郷台」駅より 徒歩3分

財団設立30周年記念事業「推し遺跡パネル展」

内容：神奈川県内の発掘された遺跡を各市町村が推す遺跡をパネル展示します。ミニ講座も開催する予定です。また、10月以降も巡回展を予定しています。

日時：2024(令和6)年9月27日(金)～29日(日)
会場：センタープラザ(横浜そごう9階)
アクセス：横浜駅東口 徒歩5分

海老名市共催事業

内容：勾玉をつくるワークショップを行います。

日時：①2024(令和6)年7月31日(水)
②2024(令和6)年8月1日(木) どちらか1日

会場：海老名市民活動センタービナレッジ
(海老名市さつき町 51-2)【7月31日】
門沢橋出土品整理室
(海老名市門沢橋 685-1)【8月1日】

申込：各日 48名程度
アクセス：①小田急小田原線「厚木」駅北口より徒歩10分
②ＪＲ相模線「門沢橋」駅 徒歩約10分

茅ヶ崎市共催事業

内容：鬼瓦をつくるワークショップを行います。

日時：2024(令和6)年8月17日(土)
会場：茅ヶ崎市博物館(茅ヶ崎市堤 3786-1)
アクセス：ＪＲ東海道線「茅ヶ崎」駅北口より神奈川中バス「文教大学行き」などに乗車。「堤坂下」で下車、徒歩約15分

関東考古学フェア スタンプラリー

内容：関東各都県の埋蔵文化財センターや博物館・資料館などの対象施設を見学して、3都県以上で3か所以上のスタンプを集めよう。

期間：2024(令和6)年6月8日(土)～11月24日(日)
会場：関東1都6県の対象施設

夏休み体験発掘

内容：中学生・高校生を対象として、実際に調査現場に出て、遺跡発掘体験や出土品整理体験を行ってもらいます。

日時：2024(令和6)年8月5日(月)・6日(火) どちらか1日
会場：伊勢原市 上粕屋・秋山遺跡(伊勢原市上粕屋 1483)
申込：各日 10名程度(応募者多数の時は抽選)
アクセス：小田急小田原線「伊勢原」駅北口より神奈川中バス「大山ケーブル行き」などに乗車。「石倉橋」下車徒歩5分の発掘調査事務所に集合

津久井湖城山公園事業

内容：当財団で発掘調査した津久井城の調査成果を含めて、考古学講座や考古学教室を開催します。
2024(令和6)年8月(考古学教室)と12月以降(考古学講座)を予定しています。
会場等：詳細が決まり次第、HP・SNSでお知らせします。

※ 各行事の詳細は財団 HP を確認して下さい



(公財)かながわ考古学財団
〒232-0033 横浜市南区中村町 3-191-1
E-mail: fukyu@kaf.or.jp
TEL: 045-252-8689 FAX: 045-261-8162



ホームページ



Facebook



X

発掘帖バックナンバーはホームページからダウンロードできます。



考古学財団発掘帖

No.41 2024(令和6)年第1号
令和6年6月28日発行

編集・発行：(公財)かながわ考古学財団
〒232-0033 横浜市南区中村町 3-191-1

TEL: 045-252-8689 FAX: 045-261-8162

ホームページ: <https://www.kaf.or.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/kanagawakougakuzaidan/>

X: https://twitter.com/kouko_kanagawa

はっくつちょう 考古学財団 発掘帖 No.41 公益財団法人かながわ考古学財団情報誌 2024(令和6)年第1号



厚木市
中依知遺跡群
中津川左岸に掘られた横穴墓群



6号横穴墓 石積施設と羨門開口状況(南西から)

中津川に面した台地西側の斜面で、古墳時代後期(終末期)の横穴墓を10基発見しました。このうちの6基には、横穴墓入口(羨門)の周囲に河原石を積み上げて壁とした「石積施設」が設けられていました。6号横穴墓では羨門のある正面の壁だけではなく左右の壁にも石積みがされていました。正面の石積施設の中央には、大型の河原石を積んで形作られた縦横0.7mほどの大きさの羨門が開いています。発見時には小ぶりの河原石が詰められて塞がれた状態でした。羨門の前面には、須恵器の壺(フラスコ形瓶)が1点置かれていました。埋葬に伴う墓前祭祀で使われたものと考えられています。壺や坏などを1点だけ残して置いておくのが、当時の流儀だったようです。

裏面の特集に続きます

大規模高速道路建設事業に伴う現地の発掘調査が一通り終わってきました。現在はそれらの出土品整理作業に切り替わってきています。その中で3Dを使った計測作業を行っていますので、ご紹介します。

※本号で紹介した調査の内容は発掘時点の成果であり、調査の進展及び出土品整理作業において、名称や評価を変更する場合があります。

※中依知遺跡群の出土遺物は神奈川県教育委員会所蔵です。

